港港順便り ② 2017. 5

第120号

::*:*:*:*:*:*:*:*:

目 次

1 ポートエッセイ

― 「北前船寄港地」が日本遺産に 新たな観光周遊ルートに期待 ―

~ 日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭 ~

2 トピック

●客船「ぱしふぃっくびいなす」おおふなと特別観光大使委嘱状交付について

(大船渡市 商工港湾部観光推進室)

- ●「おおふなと特別観光大使委嘱歓迎・ぱしふぃっくびいなす大船渡子ども探検隊」の開催について (大船渡市 商工港湾部観光推進室)
- ●ひたちなか市 里浜げんき市場を開催しました。

(阿字ヶ浦・磯崎里浜づくり実行委員会)

●深日港洲本港航路に関する連携協議会の開催について

(近畿地方整備局 港湾空港部港湾計画課)

●「飛鳥Ⅱ」中津港に寄港

(中津港利用促進振興協議会(中津市 商工農林水産部企業誘致・港湾課))

●標茶高校によるクルーズ船おもてなしが土木学会地域活動賞を受賞しました

(釧路開発建設部 築港課)

●ぱしふぃっく びいなすが白老港に初寄港!しました

(白老町 経済振興課港湾室)

3 お知らせ

- ◇常設展「碧南の歴史と文化」 碧南のできごと2「衣浦港の歴史」を開催中
- ◇『第36回横浜開港祭 Thanks to the Port2017』
- ◇鼠ヶ関の旬をお届け!第22回うまイカ・干しイカ・イカまつり 6月18日 日曜日に開催 (鶴岡市温海庁舎 産業建設課)
- ◇三河港でサンセットクルーズを開催します

1 ポートエッセイ — 「北前船寄港地」が日本遺産に

新たな観光周遊ルートに期待 ―

~日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭~

江戸時代の最大輸送航路であった日本海の「西回り航路」に新たな光が当たった。先月末、文化庁が 認定する「日本遺産」に「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間~北前船寄港地・船主集落~」が選 ばれた。舟運の歴史が見直されるのはもちろん、クルーズ船に脚光が当たっている今、「北前船寄港地 を新しい広域観光ルートに」と関係者の期待が高まっている。

日本遺産は2015年から始まった制度で、毎年文化庁が認定している。今年は17件が選ばれ、認 定数は合わせて54件となった。

西回り航路はご承知の通り北海道から日本海側の湊をつなぎ、最終的には瀬戸内海から商都・大阪を結ぶ輸送ルートで、江戸時代から明治時代の長きにわたり、その航路の主役を担ったのが北前船だった。 今回の日本遺産には、北海道から福井県までの7道県にまたがる「北前船寄港地」のうち、北海道函館市から福井県敦賀市までの7市と北海道松前町から福井県南越前町までの4町が協力して申請していた。 私の住む新潟市も江戸時代には「北前船の最大寄港地」だった新潟湊があり、共同申請者の一員に名を連ねさせてもらった。

審査では「日本海をダイナミックにつないだストーリー展開が面白い」と評価された。申請した側も「これだけ広域的な交流エリアを対象に認定された日本遺産は例がない。北前船で育まれた歴史的・文化的資源が継承され、今も光り輝いていることを評価いただいた」と喜んでいる。

今回認定いただいた構成文化財の中で、新潟市からは豪商の館で「北前船の時代館」の愛称を持つ「旧小澤家住宅」や、同じく代表的豪商の「旧齋藤家住宅及び別邸」、湊町文化を今に伝える「日本舞踊市山流(古町芸妓)」、狛犬を回してお願いごとをする「湊稲荷神社願懸け高麗犬」、白山神社に奉納された「大船絵馬」など11件が選ばれた。

今回の認定を機に、まずは地元の北前船文化を巡るコースを設定し、次いで新潟県内の寺泊や隣県の 酒田湊などと連携して広域周遊ルートをつくっていきたい。増え続けるインバウンドへのアピールにも 有効だろう。

海に囲まれている日本列島では、多くの地域に舟運文化が今も息づいていると思う。舟運文化を良い ストーリーでつなぎ、日本遺産に湊文化が数多く認定されることを望んでいる。 *:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:

2 トピック

::*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:

●客船「ぱしふぃっくびいなす」おおふなと特別観光大使委嘱状交付について

(大船渡市 商工港湾部観光推進室)

平成29年4月25日(火)、客船「ぱしふいっくびいなす」が「大曲の花火 春の章と東北クルーズ」において、大船渡港に寄港しました。

当日は、大船渡港に通算12回目の寄港となった客船「ぱしふいっくびいなす」へ「おおふなと特別観光大使」の委嘱状交付式を執り行いました。

「おおふなと特別観光大使」は、船舶やキャラクターなど実在の人物以外を対象に、大船渡市の観光 資源の魅力及び観光情報等を広く国内外に発信し、市の知名度向上とイメージアップを図ってもらおう と、平成28年度に設置したものです。

お見送りに多くの市民が接岸場所の野々田ふ頭を訪れるなか、今後も寄港を重ねて大船渡との交流を 深めてもらうよう願い、由良和久船長に委嘱状を交付しました。



「ぱしふいっくびいなす」をおおふなと特別観光大 使に委嘱しました



大船渡港に入港する「ぱしふぃっくびいなす」



日本一の躍る獅子頭「綾里大権現」でお出迎え

●「おおふなと特別観光大使委嘱歓迎・ぱしふぃっくびいなす大船渡子ども探検隊」の開催について (大船渡市 商工港湾部観光推進室)

平成29年4月25日(火)、客船「ぱしふいっくびいなす」大船渡港寄港にあわせ、クルーズ客船入港歓迎行事にアトラクション出演する園児を対象に、青少年の海事啓発の普及と、海事産業の業務や船に関わる仕事への理解を深め、また、クルーズ客船が寄港するまち「大船渡」を肌で感じてもらうことを目的として、「おおふなと特別観光大使委嘱歓迎・ぱしふいっくびいなす大船渡子ども探検隊」と題し、船内見学会を開催しまた。

「ぱしふいっくびいなす」の乗務員の案内のもと、園児たちは目を輝かせながら、船内を「探検」し、 クルーズ客船の大きさに感動した様子でした。

また、船上から東日本大震災からの復興が進む大船渡の街並みを見下ろし、大きな歓声をあげていました。



船内「探検」に乗り込む園児たち 初めて見る大きな船に興味津々



復興が進む大船渡をバックに記念撮影



「探検」を終え、「ぱしふぃっくびいなす」の前で にっこり笑顔

●ひたちなか市 里浜げんき市場を開催しました。

(阿字ヶ浦・磯崎里浜づくり実行委員会)

平成29年5月3日(水)~5月5日(金)、茨城県ひたちなか市阿字ヶ浦町の阿字ヶ浦海岸において、特産品やB級グルメを振る舞う「ひたちなか市 里浜げんき市場」を開催しました。また、同会場駐車場と国営ひたち海浜公園をシャトルバスで結ぶパークアンドライドも実施しました。国営ひたち海浜公園では、この時期にはネモフィラが見頃となり、「ひたちなか市 里浜げんき市場」開催中の5月4日(木)には、1日の入園者数が初めて10万人を超えるなど、非常に多くの観光客が来園し、「ひたち

なか市 里浜げんき市場」も大いに賑わいました。

初日の5月3日(水)には、国土交通省関東地方整備局鹿島港湾・空港整備事務所の協力により、同事務所所属の港湾業務艇「ひたち」で先着100名の方々を対象に、茨城港常陸那珂港区の工事現場などを海上から見学する「ひたちなか みなとクルーズ」を実施しました。当日は、快晴に恵まれ風もなく穏やかな日和で、参加者は、普段なかなか見ることが出来ない海から見る港の風景に、満足した様子でした。



大勢の観客が集まったステージイベントの様子



港湾業務艇「ひたち」内における 茨城港常陸那珂港区説明の様子

●深日港洲本港航路に関する連携協議会の開催について

(近畿地方整備局 港湾空港部港湾計画課)

関西国際空港近くの大阪府岬町に位置する深日(ふけ)港と兵庫県淡路島の洲本港との間では、かつて高速船等が行き来していましたが、明石海峡大橋の開通による利用客減少から1999年に廃止されました。

しかし最近では、増加する関西国際空港を利用する外国人観光客の観光ルートとして、また災害時の 代替輸送ルートして、航路復活が期待されているところです。

こうした中、航路復活を推進していくため深日港・洲本港航路に関する連携協議会(大阪府、岬町、 兵庫県、洲本市、近畿運輸局、神戸運輸監理部、近畿地方整備局で構成)が発足し、第2回目となる会 議が4/10に行われました。その中では、イベントや観光ツアーと連携し実施する高速船運航実験に ついて意見交換が行われ、関係部局が連携することを確認しました。6月下旬からの運航実験の成果に ご期待ください。



深日港・洲本港航路



協議会の様子

●「飛鳥Ⅱ」中津港に寄港

(中津港利用促進振興協議会(中津市 商工農林水産部企業誘致・港湾課))

5月13日(土)、中津港多目的国際ターミナルに「飛鳥Ⅱ」が寄港しました。

めぐみ幼稚園の園児による鼓笛隊の華やかな演奏の中着岸し、その後に行われた歓迎式典では、奥塚正典中津市長より「飛鳥Ⅱ」の乗客の皆様へ歓迎の挨拶を申し上げました。その後、草野修一中津市議会議長より小久江尚船長へ、中津の伝統工芸品である中津和傘をアレンジした「あんどん」が贈呈され、また、乗客の皆様には中津銘菓「一万円札せんべい」が贈呈されました。

乗客の皆様は、黒田官兵衛が築いた中津城や豊後高田「昭和の町」へお出かけになったり、豊前海で育った中津名物「鱧」の懐石料理を堪能されたりと、大分の観光を楽しまれました。

出港時には、日本太鼓ジュニアコンクールで内閣総理大臣賞に輝いた「ZENKAI太鼓「和」」の 勇壮な演奏や、「書の甲子園」と呼ばれる国際高校生選抜書展で団体優勝に輝いたことのある大分県立 中津北高等学校書道部の迫力あるパフォーマンス、最後に大分県立中津東高等学校吹奏楽部の演奏で乗 客の皆様を見送り、「飛鳥Ⅱ」は次の寄港地となる大阪港へ出港しました。



奥塚正典 中津市長より 乗客の皆様へご挨拶



めぐみ幼稚園園児より小久江飛鳥 II 船長たちへ 花束の贈呈



めぐみ幼稚園による鼓笛隊



ZENKAI太鼓「和」による演奏



大分県立中津北高等学校書道部による パフォーマンス



大分県立中津東高等学校吹奏楽部による 演奏の中、大阪に向けて出港

●標茶高校によるクルーズ船おもてなしが土木学会地域活動賞を受賞しました。

(釧路開発建設部 築港課)

釧路港に寄港するクルーズ船の外国人観光客へ英語による道案内など、おもてなし活動を行っている 北海道標茶高等学校に、土木学会北海道支部から地域活動賞が贈られました。

北海道標茶高等学校は、課外活動の一環として釧路港の耐震・旅客船バースにクルーズ船で訪れる外国人観光客へのおもてなし活動に平成27年度から参加しています。

岸壁上において英語で道案内をするほか、全天候型緑地(EGG)において書道、着物の着付などの 日本文化を紹介するおもてなしにも英語で対応しています。

これらの活動が、土木構造物を通じて地域の発展や貢献に寄与されていると土木学会北海道支部より評価されました。







書道体験の様子

●ぱしふぃっく びいなすが白老港に初寄港!しました

(白老町 経済振興課港湾室)

5月11日(木)の早朝、白老港に「ぱしふぃっく びいなす」が初寄港しました。

雨模様にも関らず、パラグライダーによる歓迎飛行で出迎え、初寄港歓迎セレモニーでは、アイヌ民族の伝統楽器によるムックリ演奏や船長へ初寄港の記念として、花束と記念品を贈呈しお出迎えしました。

その他、岸壁上に白老町や苫小牧市が観光案内ブースを出展し、アイヌ民族衣装を着用した記念写真撮影、アイヌ伝統工芸品販売、白老牛サイコロステーキやカニ汁の試食など乗客・乗員をおもてなししました。

アイヌ民族博物館を訪れたお客様は、「楽しい思い出になりました。ここで 2 日過ごせたらいいのに」 と旅を満喫した様子でした。

白老町に2020年誕生する民族共生象徴空間と合せて、今後も白老港へクルーズ船が寄港してもらえるよう誘致活動に注力していきます。



ぱしふぃっく びいなす接岸状況



出港セレモニー



アイヌ民族の伝統楽器によるムックリ演奏



おもてなし状況

◇常設展「碧南の歴史と文化」 碧南のできごと2「衣浦港の歴史」を開催中

愛知県碧南市の西に広がる衣浦港が重要港湾の指定を受けてから今年で60周年。

これを記念して、衣浦港の歴史を古写真や計画図面等の市史資料で振り返る常設展を実施しています。

①日 時:平成29年4月8日(土)~7月9日(日)

午前10時~午後6時(月曜日休館)

②場 所:碧南市藤井達吉現代美術館 地下1階 情報コーナー

(愛知県碧南市音羽町一丁目1番地)

③問合せ先:碧南市藤井達吉現代美術館 TEL 0566 (48) 6602

4)主 催 者:碧南市教育委員会

⑤参 考:碧南市藤井達吉現代美術館Webページ

http://www.city.hekinan.aichi.jp/tatsukichimuseum/index.html

◇『第36回横浜開港祭 Thanks to the Port2017』

開催日:平成29年6月2日(金)及び3日(土)

開催場所:横浜港 臨港パーク及びみなとみらい21地区、新港地区/その他周辺

概 要:"Thanks to the Port"『「開港を祝い、港に感謝しよう」~開港から英

知・想いを未来へ繋ぎ次世代との共鳴を広げる市民祭〜』というコンセプトのもと、港と共に発展してきた横浜にとって誕生日とも言うべき開港記念日である6月2日を祝い、 賑わいのある海上、陸上、ステージイベントなどの市民参画型の催しが2日間に渡り、

数多く開催されます。

http://www.kaikosai.com/

◇鼠ヶ関の旬をお届け!第22回うまイカ・干しイカ・イカまつり 6月18日 日曜日に開催

(鶴岡市温海庁舎 産業建設課)

主 催:あつみ観光協会鼠ヶ関支部

開催日:平成29年6月18日(日曜) 9:15~

開催場所:鼠ヶ関漁港

アクセス:電車で(JR鼠ヶ関駅から徒歩で約5分)

お車で(日本海東北自動車道 あつみ温泉ICより国道7号経由で約15分)

(日本海東北自動車道 朝日まほろばICより国道7号経由で約50分)

概 要:うまイカ・干しイカ・イカまつりは、その名のとおり、新鮮な生イカの販売はもちろん、

イカ飯、イカ焼き、イカの一夜干しなどの旬の美味しいイカづくしのイベントです。 また、イカ墨書道、イカのトンビ飛ばし世界大会、するめイカ卓球、特産品が当たる抽

選会など、楽しいアトラクション盛りだくさんです。

鼠ヶ関で旬のイカづくしを楽しもう!!

※生イカの販売は、午前10時30分からの予定です。

※天候や漁獲量により、販売・イベント内容が変更になることがあります。

お問合せ先: あつみ観光協会 (電話:0235-43-3547)







◇三河港でサンセットクルーズを開催します

三河港神野地区にて毎年海の日に開催されております「豊橋みなとフェスティバル」において、 伊勢湾フェリーから夕日を眺める三河港一周遊覧の旅「サンセットクルーズ」を実施します。 船内では、三河湾の夕暮れの美しい景色に加え、東三河の食材を用いた選べるお弁当やバルーンパフ オーマンスで楽しい時間をお過ごしいただけます。





①開催日時:平成29年7月17日(月・海の日)午後5時30分~7時

②乗船場所:神野ふ頭3号岸壁(豊橋市神野ふ頭町)

* ご来場の際は、ライフポートとよはし駐車場をご利用ください。

③定 員:400名(申込み多数の場合は抽選)

④料 金: 1. 大人(中学生以上) 3,000円(お弁当·お茶付き)

2. 小学生 2,000円 (お弁当・お茶付き)

* 未就学児は無料ですが、お弁当をお付けすることも出来ます。この場合は小学生料金となります。

⑤申し込み:6月20日(必着)までにメールフォーム又は郵便はがきによりお申し込みください。

⑥備 考:選べるお弁当や申し込み方法等の詳細については、下記ホームページをご覧ください。

⑦主催・お問合せ・お申込み先

〒440-8508(住所記載不要) 豊橋みなとフェスティバル実行委員会事務局 TEL 0532-53-7211

公式ホームページ http://www.toyohashi-cci.or.jp/event/minatofes/

:: *: 本メールマガジンに関するお問合せやご意見、また情報の送り先 :*:*: *: * 日本港湾振興団体連合会事務局

〒105-0002 港区愛宕1-3-4

TEL: 03-5776-0630

FAX: 03-5776-0631

e-mail: bcf06323@nifty.com

::*:*:*:*:*:*:*:*:*: